

## 清瀧宮本殿

清瀧宮本殿は、醍醐寺を守る神を祀る神社です。現在の建物は 1517 年と 1599 年のもので、以前の建物は焼失しました。

神社には、醍醐寺と真言宗の守護神である清瀧権現が祀られています（権現とは日本起源の神であり、仏教の神と神道の神が混ざりあった神を意味します）。清瀧権現は、空海（774-836）によって中国から日本に伝来しました。空海は、真言を築き、死後は弘法大師として知られている僧です。清瀧権現はしばしば女性として表現され、自然災害を防ぐと信じられています。

清瀧権現の桜会の期間である、4 月 1 日から 21 日まで、神社では様々な法要が開催されます。

清瀧宮本殿の向かいには、礼拝堂である清瀧宮拝殿があります。